

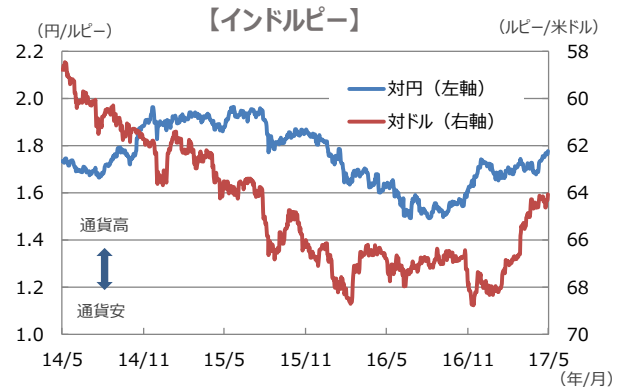
今日のトピック アジアの通貨動向 (2017年5月)

インドルピーが堅調、ルピア、リングgitは安定

ポイント1 インドルピーは堅調

1年9カ月ぶりの高値水準

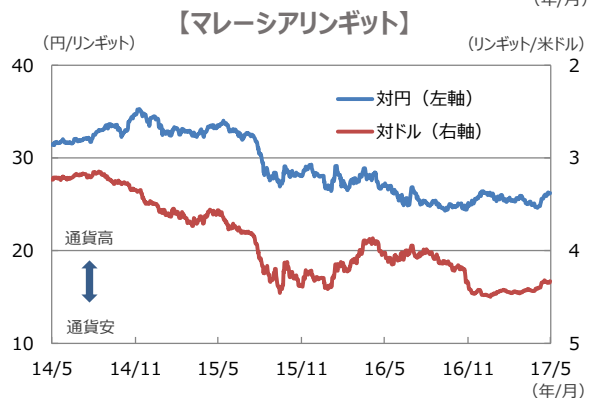
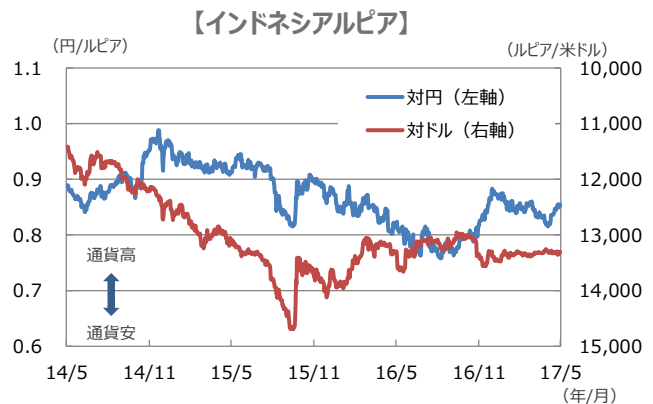
- 17年に入り、インドルピーが堅調な動きとなっています。5月16日の引け値は1ドル=64.08ルピーと、約1年9カ月ぶりの高値水準です。3月のインド地方選挙でモディ首相の与党であるインド人民党が圧勝し、経済改革の期待が高まったことで、海外投資家からの資金が流入したことが背景です。インド経済は高成長が続くと見込まれることから、今後もインドルピーは堅調を維持しそうです。



ポイント2 ルピア、リングgitは安定

トランプ大統領のドル高牽制も支え

- インドネシアルピアは17年に入り、対ドルで横ばい推移となっています。複数の大手格付け会社がインドネシアの格付け見通しを「ポジティブ」にしているように、経済や財政の改善期待が今後もインドネシアルピアを支えると見られます。
- マレーシアリングgitは、米金利上昇でアジア通貨危機以来の水準に急落しましたが、足元で持ち直しつつあります。トランプ大統領のドル高牽制発言もアジア通貨のサポート要因となっている模様です。



今後の展開 アジア通貨は底堅い動き

- アジア通貨は、米大統領選挙後の米金利上昇に伴って弱含みましたが、17年に入り、落ち着きを取り戻しています。アジア各国・地域は経済の基礎的条件が改善しており、成長見通しも良好です。米国の利上げは緩やかに進むと見られるため、アジア通貨は今後も底堅く推移することが期待されます。

(注) データは2014年5月16日～2017年5月16日。
対ドル(右軸)は逆目盛。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年5月11日 アジア・オセアニアのリート市場の動向 (2017年4月) 2017年5月10日 「ADB」年次総会は安全網を拡充 (アジア)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。